

拝啓 今年も早や4月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、今はハナミズキの花が清らかに咲いています。ハナミズキの花弁は4枚で、それぞれの花びらの先に穴が開いていますが、イエスの十字架と釘跡を現しているという言い伝えがあります。

今回は、小西芳之助先生の『コリント人への第一の手紙講解説教』からの引用の11回目ですが、今回のエンカウンターの5ページ、「有名なパウロの復活論」という項目には、次のように書かれています。

#### 「有名なパウロの復活論

コリント前書15章は、有名なパウロの復活論であり、また、これは復活に関する最初の記事でもあります。「復活」がキリスト教の根底をなしているために、この箇所が実に重きを成しています。旧約、新約聖書全66巻を通して、「復活」を論じている場所はこの場所だけあります。如何に重要であるかということは言葉を要しないところであります。もし、この15章がなければ、ヨハネが言う永遠の生命の内容も空漠なものとなります。実に、パウロのキリスト教に貢献している点で、このコリント前書の右に出るものは有りません。パウロは、この15章の前半で「イエスの復活」の事実を述べ、後半では、その復活の性質並びにその態様などの困難な問題について説明しています。そして最後に、この「死を征服する復活」によって、日々の生活を新にせよ、確立せよ、ということをお勧めしております。実にロマ書8章とともに、聖書中の聖書とも言うべき場所でもあります。」

小西先生は、コリント前書第15章を、ロマ書8章とともに、復活の記事のゆえに、「聖書中の聖書」と言っておられます。

故佐生健光先輩から、元高円寺東教会の発行していた月刊誌「よろこび」のバックナンバー（約300号）を預かっていました。このたび、その全部を製本業者に頼んで製本してもらいました。6冊の本に見事に出来上がりまして、まるで高円寺東教会と小西芳之助先生がよみがえったような感じがいたしました。

この一月に読んだ『一日一生』等の本から、感銘を受けた言葉を紹介します。

#### 小西芳之助先生『主の御名を呼ぶ』4月13日

##### 「真似することと復活

再び、私は言う、「キリスト教を学ぶは、日本人が英語を学ぶがごとし」と。キリスト教を学ぶには、教師の真似をしなければならない。ちょうど、英会話を学ぶにも教師の真似をしなくてはならないのと同じである。

思いにも、行いにも、できるだけ聖パウロの真似を使用しようではないか。真似をこそ、初めて我らの復活の真実なることを明らかに知るであろう。人間は、何と祝福されたる存在であろうか。なぜなら、思いも、行いも、ある程度聖パウロの真似ができるから。」

小西先生は、パウロの真似をされた。私は、小西先生の真似をしたい。宗教は、つくづく師の真似が基本であると思う。

#### 新渡戸稲造先生『一日一言』4月4日

「力もなくこんなつまらぬ我が身なれば、どうして世のために尽くすことが出来よう。と自ら謙遜る心をそのまま支えながら日々の務めを続けるが、それですでに大事業である。」

#### 松下幸之助先生『道をひらく』『手さぐりの人生』

「いくつになってもわからないのが人生というものである。世の中というものである。それなら手探りで歩むほか道はあるまい。わからない人生を、分かったようなつもりで歩むことほど危険なことはない。わからない世の中を、みんなに教えられ、みんなに手を引かれつつ、一歩一歩踏みしめていくことである。謙虚に、そして真剣に。」

#### 内村鑑三先生『一日一生』3月27日

「歩む」(創世記5・24)とは「静かに歩む」の意である。飛ぶにあらず、走るにあらず、歩むのである。雄飛というがごとき、失踪というがごとき、絶叫というがごときことを為さずして、忍耐をもって神により頼み、その命にしたがって静かに日々の生涯を送ることである。あえて大事業をなさんとせず、大伝道を試みんとせず、大奇跡を行なわんとせず、ただ神の命これを重んじ、彼の言葉これしたがひ、神を信ずるこれ事業なりと信じて、無為に類する生涯を送る事である。信仰の生涯の大部分は忍耐である。静粛である。待望である。神に在りて自己に足るの生涯である。また神より何物をも受くることなきも、彼ご自身を賜わりしがゆえに、その他を要求せざる生涯である。」

#### パークレー先生『一日一章』3月9日

「少しずつ

一つのことにくり返し努力を注入すれば、一つ一つの努力は大したものでもなく、ついには大きなことを成し遂げることができる。

小さなことも、くり返しやれば、大きなことをなしとげることができる。しかし、続けなければだめである。大事なものは、小さい、絶えずくり返される努力である。

同じことを絶え間なくやっていると、ついにおどろくべき変化が起きる。」

#### カウマン先生『日の出に向かって』3月21日

「私の心を日々、訓練して下さい

優しさだけを持つことができますように

年月が経って、年をとっても

私が優しさを保つことができますように

私をどうか、優しい者にして下さい

人生に当然あるいらだたしさを越えて

楽しい永遠の喜びを見ることができるようになってください

そうです。年を取っていく中であっても、私を優しい者としてください。」

新型コロナが引き続き流行しています。感染に注意を払い、マスク、手洗い、うがいなどはこれまで同様実行されて、十分ご注意下さるようお願い申し上げます。

4月21日

山口周三

エンカウンターの記事各位